

平成 29 年 3 月 14 日

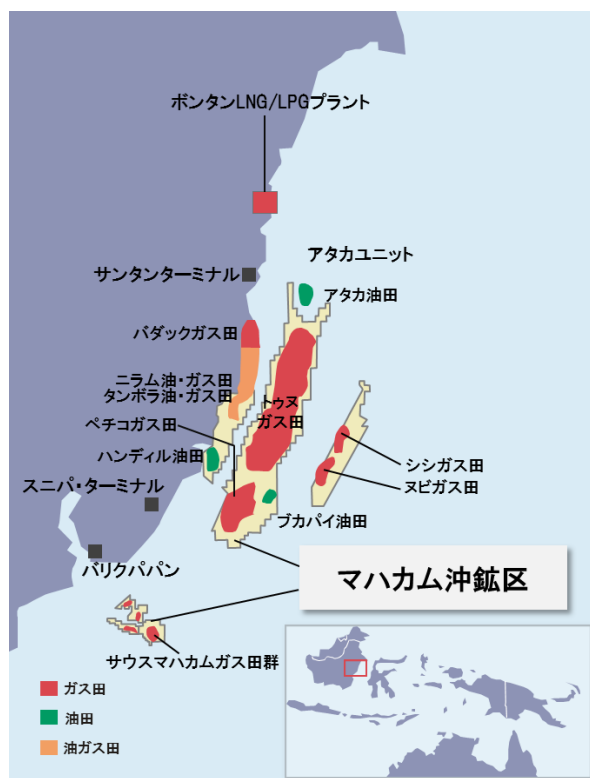
各 位

国際石油開発帝石株式会社
広報・IR ユニット
(電話 03-5572-0233)

インドネシア共和国マハカム沖鉱区における
操業移管に関する諸契約の締結について (お知らせ)

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、インドネシア共和国マハカム沖鉱区 (以下、本鉱区) において、オペレーターのトータル社と共に、原油・天然ガスの開発・生産事業を行っております。

当社は、2017 年末に鉱区期限を迎える本鉱区への 2018 年 1 月以降の参入を目指し、トータル社と共にインドネシア政府当局及びプルタミナ・フル・マハカム社 (以下、プルタミナ社) と協議を進めておりますが、この度、2018 年以降の本鉱区への参画に係る協議に向けたステップの一つとして、プルタミナ社及びトータル社と操業移管に関する諸契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。



マハカム沖鉱区位置図

この度締結した契約は、現在のオペレーターであるトータル社からプルタミナ社への円滑なオペレーターシップの移行を図ること、2018 年 1 月 1 日からプルタミナ社がオペレーターとして本

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

鉦区の操業を着実にを行うこと等を骨子とするものです。

以上

マハカム沖鉦区概要（権益比率：当社 50%、トータル社 50%（オペレーター））

当社は 1966 年 10 月にインドネシア政府と生産分与契約を締結。ブカパイ油田、ハンディル油田、タンボラ油ガス田、トゥヌガス田、ペチコガス田、シシ・ヌビガス田およびサウスマハカムガス田などが順次発見され、40 年以上に亘り各油田・ガス田で原油・天然ガスの生産を続けています。本鉦区で生産された原油は日本などに輸出されているほか、天然ガスは LNG（液化天然ガス）の原料ガスとして世界最大級のボンタン LNG プラントに送られ、同プラントで生産された LNG は日本などに輸出されています。